

終わりではなく、始まり。

3年前、地域おこし協力隊への応募に際してあばの情報をインターネットで検索していた時、“エコピレッジあば”のホームページを見つけました。そこには素敵なイメージイラストとともにこう書かれていました。

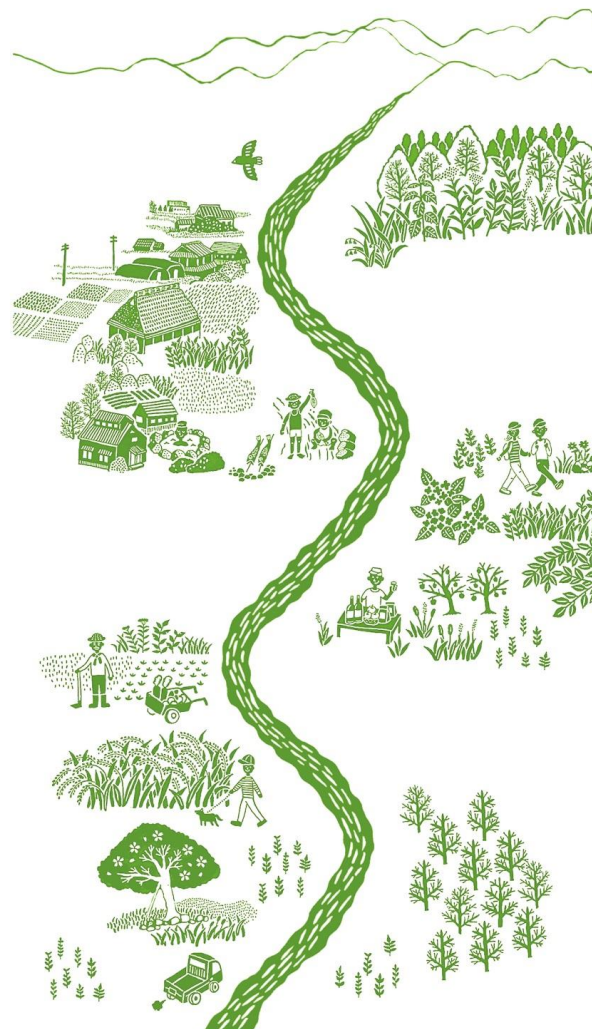
阿波(あば)地区は、岡山県の北東部の
ずーっと奥深く、鳥取県との県境にあります。
周囲をぐるっと山に囲まれ、入り口はひとつだけ。
山々が抱く源流は澄んだ川となり
穏やかな農村風景の真ん中を
ゆったりと流れています。

しかし近年、人口減少・少子高齢化が進み
少しずつ「あば」は失われようとしています。
外から見ると不便で何も無い場所かもしれません。
ですが、あばには人間らしく生きるための
大切なものがたくさんあります。

「ここで最期を迎えたいんだ」
これは、この地と共に生き、
そして未来の人々へあばを繋ぐための
私たちの決意の言葉です。
ひとつひとつできることから始めています。
よかったら私たちの取り組みを
見に来てください。

実際にあばで3年間暮らし、その取り組みを体感し、“人間らしく生きるための大切なもの”にたくさんふれる中で、「ここで最期を迎えたいんだ」という言葉に共感するほどあばへの愛着が育ちました。山々に抱かれ、清らかな水と空気のもとで暮らせるあばを未来の人々に繋ぐために、協力隊卒業後もわたしにできることを残りの人生を通してひとつひとつ形にしていきたいです。

4月からあばに住み、津山市川崎にある岡山県立北部高等技術専門校の木工科に1年間通います。あばの食の掘り起しや味噌・豆腐といった加工の担い手としての役割を期待されていたのですが、平均寿命の87歳まで生きると仮定してあと約40年どう生きていくかを考えた時、あばの一番の資源であった山の活用をライフワークにしたいと思いました。木工の技術を磨きながら、木地師の里あばにある暮らしの豊かさを継承していきたいです。その上であばの食の魅力ももちろん伝えていきます。この3年間でまだできていないことも丁寧に実現していく所存で、これからが本当の意味での始まりです。(谷口 江利香)



あば村地域おこし協力隊通信

編集・発行 津山市地域おこし協力隊(谷口)

2018
最終号

3年間の地域おこし協力隊としての活動も今月をもって終了いたします。その卒業制作としてあばのガイドブックを作成しています。これまで撮りためてきたたくさんの写真を眺めながら、自分が積み重ねてきたあばでの月日を振り返る毎日です。

できたこと、まだできていないこと、いろいろある中で協力隊卒業後もあばで暮らし続けていくことを決意しました。改めてこれからもどうぞよろしく願いいたします！

ぐっちゃん思い出の1枚



過酷な寒さや降り積もる雪を耐え、花咲き誇る春を待つ尾所の桜。その姿にあばで根を張る力強さを学びました。

～3年間の活動報告&温泉活用勉強会～

2015年4月から2018年3月までの3年間、津山市初の地域おこし協力隊としてあばで活動してきました。この3年間でわたしがどんなことを目指し、実際にどんな活動をし、その結果これからどうしていこうとしているのかをご報告いたします。また、あばの温泉活用を考える上でご助言をいただいているNPO健康と温泉フォーラム専門委員の坂本誠さんを交えての勉強会も同時に開催いたします。感謝のプレゼントつきでざっくばらんな会です。お気軽にご参加くださいませ。



当日はささやかながらわたしからのプレゼントをご用意いたします(^▽^)/

【日時】

3月23日(金) 15時～17時

【場所】

阿波公民館大会議室

【お問合せ・お申込み】

協力隊・谷口(090-9772-1972)